

## 行けばわかるだろう

この場合、ただの、単純な、無心な気持ち作用してただけで、深く考えていなかった。

この車掌さん、無意識に、条件反射で、ドアを開け、切符を切り、切符を売っている様に、僕には見えた。

「今、この人は何を考えているのだろうか。何も考えていないのだろうか。」

この車掌さんだけでない、他の乗客も、あの人も、あの人も。」

僕は車内を見渡した。

座席に座ってじっとしている中年のおじさんがいる。

「僕も年取ると、ああなるのかな。」

釣り革をつかみ、こちらにお尻向けて、すまして、窓の外を見ている若い女の人がいる。席があいているのに座らない。

ふと、彼女のことを頭に浮かんだ。

「今日は家にいるかな。」

友達とこへでも遊びに行

ってるんじゃないかな。

一緒に、遊びに行けたら、

どんなにええかなあ。」